時間が無い方のための

インスタント・ブログアフィリエイト

【プレビュー版】

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

All Rights Reserved

「時間がない方のためのインスタント・ブログアフィリエイト」（以下、レポートという）は、著作権法で、保護されている著作物です。

※現在、行政書士時枝寛事務所(福岡県行政書士会会員　会員番号 04012 号)に、【著作物存在の事実証明】の取得申請も依頼中です。

レポートの使用に関しては、以下の点にご注意ください。

レポートの著作権は、インターネットビジネスアソシエイツ株式会社に属します。

著作権者の事前許可を得ずにして、レポートの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、ビデオ、テープレコーダーおよび電子メディア、インターネット等）により複製および転載することを禁じます。無料配布ならびに転売行為(オークションも含む)もかたく禁じます。以上に記載した行為により著作権者が不利益を被ったと判断した場合、該当する行為を行った者に対し、著作権法等、関係法規に基づく手続きにより法的手段により損害賠償請求などを行う場合があることを御了承ください。

このレポートで取り上げられた情報は、作成された時点での著者の見解であります。
状況の変化に応じて、著者は、このレポートで表示した見解とは異なる見解を新しい変化に応じての表現を行う権利を有しています。

このレポートに関しては、適切かつ信頼に足る情報を提供しておりますが、いかなる誤り・不正確・不作為に対して著者・出版元・アフィリエイトパートナーなどに代表される業務提携者は一切責任をおうものではないことを御了承ください。

また、法律、その他の分野に関しての専門的なアドヴァイスを与えかねること、利益や特定の目的に対する適合性を保障しかねること、このレポートを使用することによって生じた、いかなる結果に対しても責任を負わないことも御了承ください。

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

プロローグ

「まさか、こんなことになるなんて。」

あるとき、思い出したように、アマゾン・アソシエイト（※注1）の管理画面を、
開いたときに、私は、正直、そう思いました。

92 円とか、35 円とか、とても「収入」とはいえないような、スズメの涙のような、「紹介料」の中に、ひときわ目立った、**21,450 円**という、私にとっては、非常識な数字。

これが、報酬率が最初から高い**「情報商材」**というならば、私も、全然、驚かないのですが、

78000 円の商品が、5 個も、売れた結果の、紹介料 **21,450 円**。

これ、私が持つ、たくさんのブログの中の、たったひとつのブログからの収入です。

売上レポート　用語集

10月 1, 2005 - 12月 31, 2005

サマリー

商品名	出品者	価格	紹介料率	発送済み商品	売上	紹介料
	Amazon.co.jp	¥78,000	5.50%	5	¥390,000	**¥21,450**

（注1：アマゾン・アソシエイト管理画面）

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

私は、今では、こんなブログ、いくつも持ってます。
そして、今も、ヒマさえ見つけては、こんなブログを作っています。

この結果だけを話すと、多くの方が、こう言います。

アフィリエイトで成功するには、アクセスを、たくさん集めないといけないから、
きっと、こつこつ相互リンクなどを行い、寝る間も惜しんで、
さぞかし地道な作業をした結果なのでしょう？

あなたも、ひょっとしたら最初は、こう思ったかもしれませんが、
実は、これ、全く違うんです。

「相互リンク？」

このブログに関して、誰かに、相互リンク依頼のメールを送ったことはありません。

「寝る間を惜しんで？」

寝る間を惜しむどころか、寝る前に思いつきで作ってます。

「地道な作業？」

誰が、20 分でブログを作って、あとは、ほったらかしという状態を、
地道な作業というでしょうか？

たった 20 分で作った、ひとつのブログが、あとは、ほったらかしで、7 万 8000 円の商品を売り続けてくれて、売れるたびに、私に振り込まれる「紹介料」が、約 4,000 円づつ増えていく。

これって、多くの方が憧れる**「不労収入」**に限りなく近いと思いませんか？

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

もう一度、最初に、私が書いた言葉を思い出してください。

「まさか、こんなことになるなんて。」

この先、私が、お伝えする内容を、ヒマを見つけて、実践していけば、
あなたにも、きっと同じような出来事が起こると、今、この文章を書きながら確信しています。

しかしながら、あなたは、
「まさか、こんなことになるなんて。」とは思わないでしょう。

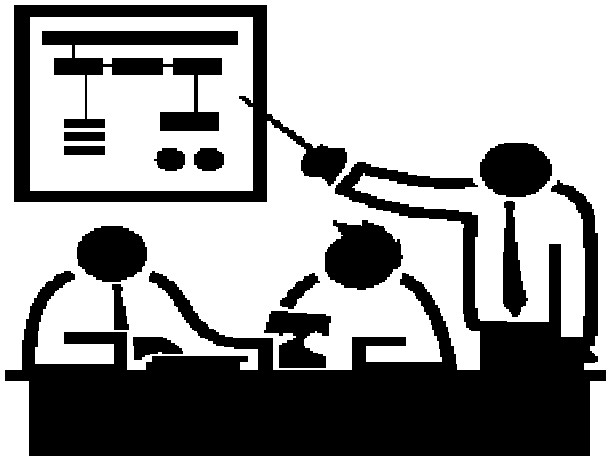
なぜか？

それは、私が先回りして、今回の、「まさか、こんなことになるなんて。」という出来事を、

数多くアフィリエイトブログを作成し続け、様々な角度から検証し、
様々な関連書籍を読みあさり、

そして、その手法に確信を持つために、日本のトップアフィリエイターが密かに行なっている、
受講費用が、30 万円以上もする、私塾にも入り、学び実践した上で、
（この私塾も、興味があれば、メールをいただければ、こっそり教えますが）

極めて理論的で合理的な、誰でも実践可能な手法に昇華させることに成功したからです。



（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

「ノウハウ」というものには、必ず「リスク」が伴うということが、私の持論です。

即効性のあるノウハウ、誰でも簡単に実行できるノウハウほど、
必ずといっていいほど「リスク」が伴います。

どんな「リスク」なのかということを書くならば、

やってみたけど、全然、ダメだったという「リスク」です。

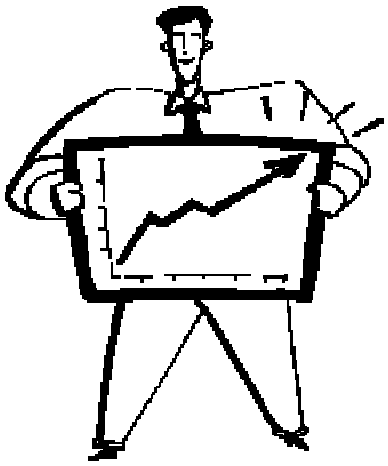
ひょっとしたら、あなたも、こういったリスクの高いノウハウが書かれた「E-BOOK」を購入し、
苦い経験をしたことがあるかもしれませんね。

実は、私が、今から、お伝えしようとしている、「ノウハウ」も、
誰でも簡単に実行できる部類なので、当然、リスクは伴います。

この「ノウハウ」で、ブログ１個作ったから、１００発１００中というわけではありません。

ですので、今回、その「リスク」を回避する、

「リスクヘッジ」の方法も、しっかりと書かせていただきます。



（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

さて、「リスク」という言葉について触れましたので、本編に入る前に、もうひとつだけ、
考えていただきたいことを、「まえがき」として書いておきます。

誰が何と言おうとも、アフィリエイトの王道は、

自分のアフィリエイトサイトのコンテンツを充実させ、

地道に、共通のテーマを持つサイトを運営するサイトオーナーに、
相互リンク依頼のメールなどを送り続け、

検索エンジンからの評価の高いサイトを時間をかけて作り上げ、

そういった作業を行ないつつ、補足的に、メールマガジンからアクセスを流したり、

ブログであれば、コメントやトラックバックを使い、アクセスを流していくことです。

そのうえで、成約率の高い商品を選んだり、自分なりに、
アフィリエイトリンクをクリックしてもらえるような文章を書いたりして、成約率を高めていきます。

アクセスを集めたうえで、成約率を高める。

これが、「アフィリエイトノウハウ」の王道です。

この手法だと、極めて高い確率で、

「不労所得」を生むアフィリエイトサイトを作り上げることが出来ます。

つまり、この手法、きわめて「リスク」が低いんです。

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

ブログの記事を毎日更新する。

各記事から、たくさんトラックバックする。

トップページの相互リンクを、同じテーマのブログなどと、100 個、200 個と数をこなしていく。

たったこれだけの作業で、ほぼ間違いなくアクセスは、大量に集まります。

１日数百アクセス程度なら、この手法で、誰でも、ほぼ達成できます。

アクセスが１日数百アクセスあれば、よっぽどのことがない限り、
アフィリエイト収入は、勝手に入ってきます。

これぞ、**失敗しようがない、リスクのない「ノウハウ」**です。

しかしながら、これ、裏を返すと、

非常に大きな「リスク」を抱えている「ノウハウ」とも言えます。

どんな「リスク」か、わかりますか？

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

そうです。

多くの方が、忙しい中、疲れた体にムチを打って、まだ見ぬ「不労所得型アフィリエイト収入」を目指しているのですが、**王道的手法だと、あまりにも、先が見えない**ので、
ほとんどの方が、途中で諦めてしまうのです。

こうして諦めてしまう人のことを、

「サラリーマン根性ではダメです。
　アフィリエイトは自営業だから、結果が出るまで我慢しないといけません。」

と言い放つトップアフィリエイターもいます。

言いたいことは痛いほどわかります。

私は、アフィリエイトなどのインターネットでの副業以外にも、数多く副業を行なってきましたし、
今でも、200 万も 300 万円もする業務用ソフトウェアを、
個人代理店として、サラリーマンとは別の顔で、個人事業主として、販売しています。

当然ですが、この個人代理店という副業は、
経費は自分持ち、結果が出なけりゃ、当然、報酬はゼロ。

付け加えていえば、相手の会社が、月末締めの翌々月払いの決済なので、
今日、注文を取っても、収入が入るのは、翌々月の末日です。

アフィリエイト報酬も、これと同じことです。
根本的に、会社員が受け取る「給与」とは収入の質が違います。

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

しかしながら、私は、サラリーマンでもありますので、
自分が働いた時間に対して、すぐに収入を求めてしまう一面も持っています。

自分が1時間作業したら、時給いくら？なんてことは、いつも考えています。

要するに、結果が出ないこと、もっとわかりやすく言えば、
１円の収入にもならないことに、2ヶ月も3ヶ月も努力できるほど、
起業家根性を、私は、さほど、持ち合わせていないということです。

だって、サラリーマンとして、しかも「部長」として、
朝から晩まで、時には接待で夜中まで働いてますから。

こつこつこつこつ、疲れた体にムチ打って、
収入を生むかどうかもわからないようなアフィリエイトサイト作りのために、
コンテンツを充実させることも、相互リンクを依頼することも、
自分の時間を無駄にしたくなかったから、やりたくなかったんです。

もしかしたら、あなたも私と同じようなことを考えているかもしれませんね。

しかし、今では、こんな作業も苦じゃありません。

先取りして、ある程度、確かな収入を得ながら、
そのうえで、ベースアップを狙っていけばいいわけですから。

その詳しい手法や理由は、この E-BOOK を読み終わったころには、
あなたにも、しっかりと理解できることでしょう。

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

このノウハウは、そんなサラリーマン根性丸出しな、
片手間副業アフィリエイターである私だからこそ、生みだすことが出来たのかもしれません。

ですので、

日ごろ、企業戦士として、社会貢献という言葉のもと、理不尽な組織の中で、
汗水流して働いている、サラリーマンやOLの方々にこそ実践して頂きたいと思っています。

あなたが、サラリーマンとして、お客さんにアタマを下げまくってること。
あなたが、お茶くみOLとして、いやな上司にお茶を入れてること。

決して「無駄」ではありません。

そうした日常を、アフィリエイトに生かす**「嗅覚」の話**も、

この E-BOOK には書かせていただきます。

私は、あなたよりも、ほんの少しだけ**「嗅覚」**が鋭かったので、

たった 8 ページで、それも **20 分の作業**、そして、**ほったらかし**で、

毎月、**不労所得っぽいアフィリエイト収入を生むブログ**の作り方を、

見つけてしまっただけのことです。

実際、こんなものは、ある意味、ちょっとした「気づき」のレベルです。

ですので、あなたが、私の「気づき」の部分を知ることにより、もっと大きな「気づき」となって、
さらに、すごい方法論が、ノウハウとして生まれることも、じゅうぶんあり得るでしょう。

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

それが、あなたも含め、みなさんが持っている
素晴らしい「個性」を生かした結果と言えるのではないでしょうか。

この E-BOOK が、あなたにとって、大きな「気づき」となり、さらに大きな、あなたなりの「ノウハウ」が生まれることを、今回の E-BOOK 執筆にあたり、私は切望いたします。

それでは、これから、しばしの間、お付き合いください。

お見苦しい文章も多々あろうかとは思いますが、
そこは、あたたかい目で見守っていただければ幸いです。

「時間がない方のためのインスタント・ブログアフィリエイト」

著者：時枝　宗臣

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp

【補足】
E-BOOK「インスタントブログアフィリエイト」は、著者である、
インターネットビジネスアソシエイツ株式会社　代表取締役　時枝　宗臣が、
サラリーマン時代に執筆したノウハウです。

E-BOOK の内容や、特典の内容などは、当然、その販売時期の状況に応じて、
随時、変更を加え続けておりますが、このプレビュー版に関しましては、
時間の無い忙しい方にとって最適なノウハウであるという当時の思いを、
そのまま表現するために、変更を加えていないということを予め御了承ください。

（C）2006 インターネットビジネスアソシエイツ株式会社
http://internet-biz.jp